

# 請求ガイド Microsoft CSP - NCE

TD SYNnex株式会社

2024.11



# 目次

1. Microsoft CSP NCEの請求体系（全体像）

2. 月契約・月払い 請求ルール

3. 年契約・月払い 請求ルール

4. 年契約・年払い 請求ルール

5. 3年契約・月払い 請求ルール

6. 3年契約・年払い 請求ルール

7. 3年契約・一括 請求ルール

8. Azure Plan 従量課金請求ルール

9. Azure Reserved Instance 請求ルール

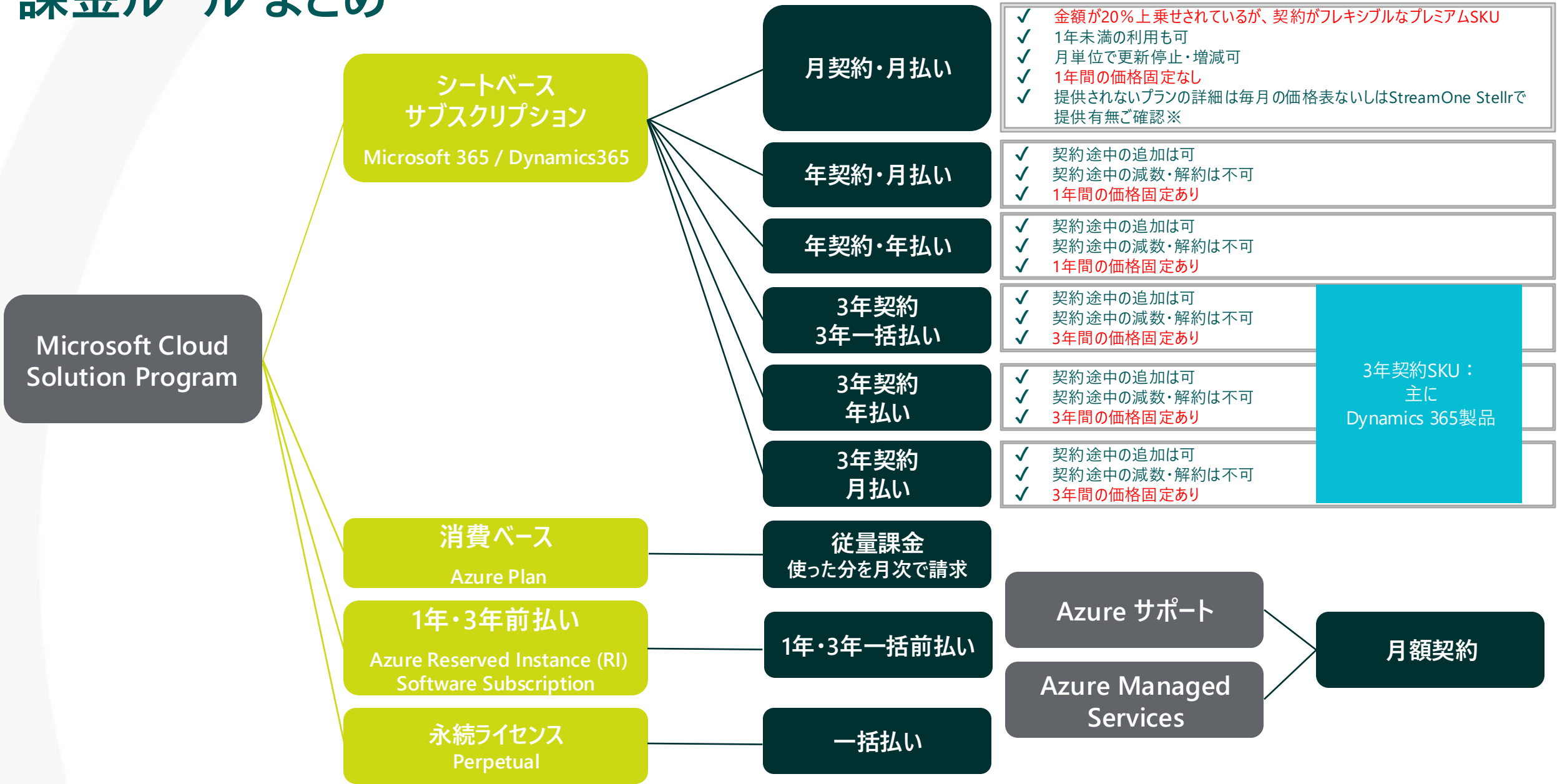
10. ソフトウェアサブスクリプション 請求ルール

11. 永続ライセンス 請求ルール

12. FAQ

13. トライアルオファー

# 課金ルール まとめ



# シートベースのサブスクリプション 旧 vs 新 (NCE)

## 従来のシートベース課金体系

### 1年契約＜月払い＞

- 1年未満の利用も可
- 月単位で解約・増減可
- 1年間の価格固定あり

### 1年契約＜年払い＞

- 契約途中の追加は可
- 契約途中の減数・解約は不可

## New Commerce Experience

### 月契約月払い

- ✓ 金額が20%上乗せされているが、契約がフレキシブルなプレミアムSKU
- ✓ 1年未満の利用も可
- ✓ 月単位で更新停止・増減可
- ✓ 1年間の価格固定なし
- ✓ 提供されないプランの詳細は毎月の価格表ないしはStreamOne Stellrで提供有無を確認※

### 年契約月払い

- ✓ 契約途中の追加は可
- ✓ 契約途中の減数・解約は不可
- ✓ 1年間の価格固定あり

### 年契約年払い

- ✓ 契約途中の追加は可
- ✓ 契約途中の減数・解約は不可
- ✓ 1年間の価格固定あり

### 3年契約 3年一括払い

- ✓ 契約途中の追加は可
- ✓ 契約途中の減数・解約は不可
- ✓ 3年間の価格固定あり

### 3年契約 年払い

- ✓ 契約途中の追加は可
- ✓ 契約途中の減数・解約は不可
- ✓ 3年間の価格固定あり

### 3年契約 月払い

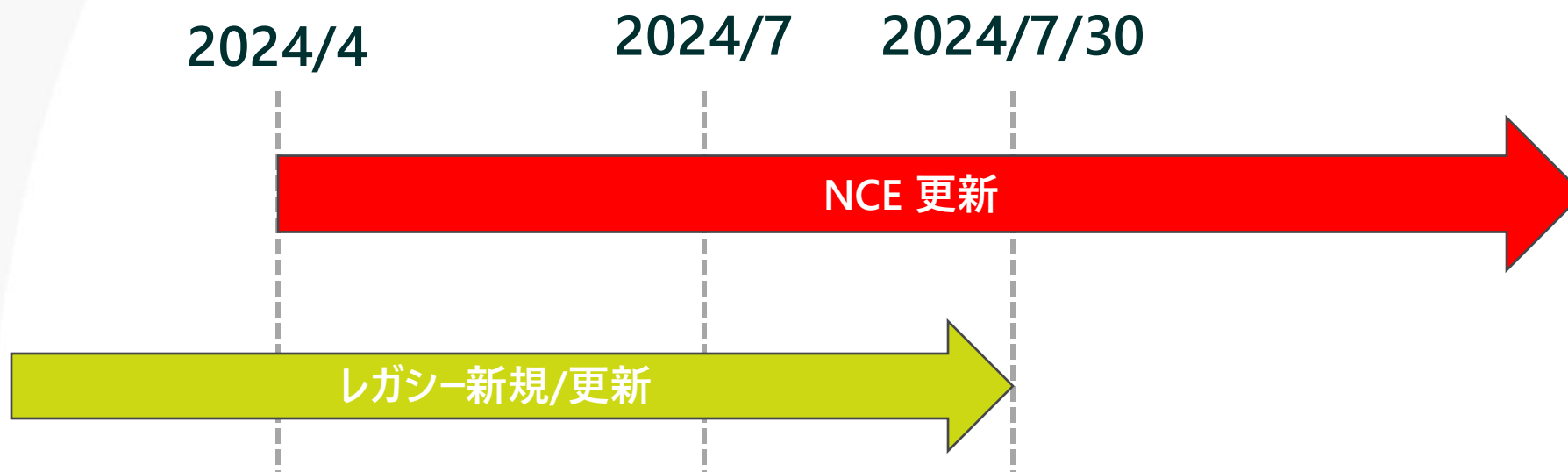
- ✓ 契約途中の追加は可
- ✓ 契約途中の減数・解約は不可
- ✓ 3年間の価格固定あり

3年契約SKU：  
ローンチ時は、  
Dynamics 365製品のみ

# New Commerce Experienceのタイムライン

## < 教育・NPO >

- New Commerce Experienceへの切り替えを以下の日程で行います



- 2024年4月以降、新規は教育・NPOもNCE選択可能に
- 2024年8月以降、教育・NPOの新規・更新はNCEのみに
- NCE切り替えまでは、契約期間中のレガシー追加は可能

# 計上日と請求書発行日について

サービス・製品	課金体系	売上計上日と請求書発行日
シート数ベース サブスクリプション  Microsoft 365 / Dynamics 365	月契約・月払い	プロビジョニング日の計上。都度請求。
	年契約・月払い	プロビジョニング日の計上。都度請求。
	年契約・年払い	プロビジョニング日の計上。都度請求。
	3年契約・月払い	プロビジョニング日の計上。都度請求。
	3年契約・年払い	プロビジョニング日の計上。都度請求。
	3年契約・3年一括払い	プロビジョニング日の計上。都度請求。
Azure Plan	従量課金	翌月8営業日目途
Software Subscription Azure RI	1年・3年一括前払い	プロビジョニングした日。都度1回請求。
Perpetual License	買い切り	プロビジョニングした日。都度1回請求。
Azure サポート	月額契約	プロビジョニングした日から毎月同じ日。
Azure Managed Services	月額契約	プロビジョニングした日から毎月同じ日。
DaaS	ご契約された契約期間で毎月支払	プロビジョニングした日から毎月同じ日。

## 請求書をご郵送させていただいている販売店様へ

請求書を郵送から、メールによるPDFでの送付へ変更いただける場合は、下記にご連絡をお願いします。

メール： [sales-account@tdsynnex.com](mailto:sales-account@tdsynnex.com)

ご連絡いただきたい情報

販売店様名：

ご担当者様：

請求書送付の宛先のメールアドレス（グループアドレス推奨）：

＊ 契約ごとに宛先を変更することはできませんため、ご了承ください。

郵送はひと月分を纏めて行っておりますため、月中に切り替えは出来ません。

ご依頼のあった翌月1日発行の請求書より日次で自動メール送信されます。

# 月契約・月払い



# 月契約・月払い 基本ルール

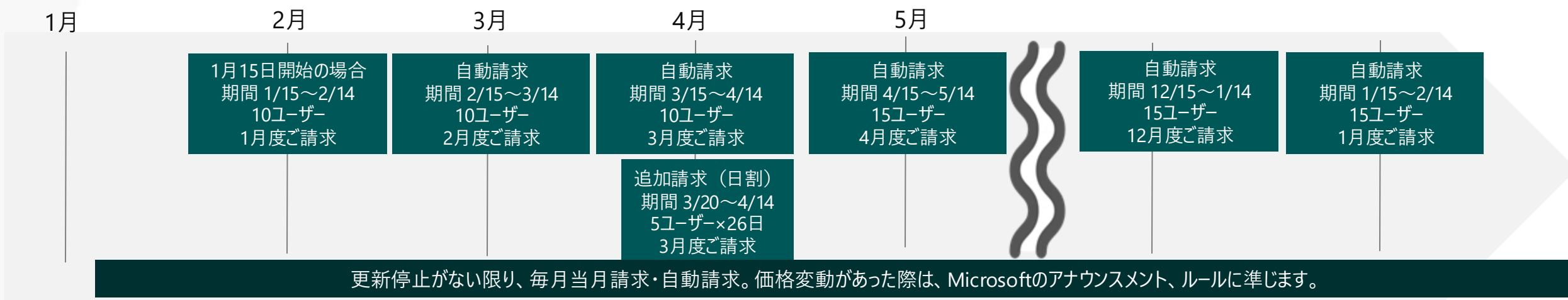
- 毎月更新し毎月支払う課金体系になります、更新停止しない限りは自動請求となります。
- 価格の改定がなければ、同額で自動請求されます。
- Microsoft側で価格改定があった際には、その際の Microsoftのアナウンスメント、ルールに準じます。
- プロビジョニングされた日がライセンスの開始日となります。
- プロビジョニングされた時の数量で、その日に即日で1か月分を請求させていただきます。
- PV当日に限り、21時までキャンセルが可能です。
- 追加した際は、追加した日から次の満了日までを日割り計算し、請求します。
- 減数は、「更新時の各種変更」から変更予約いただき、次回更新日より減数した数量で更新・請求されます。
- サービスを停止したい場合は、解約ではなく更新をしないというフローになります。契約満了日までに更新停止の処理を行って頂きますと、次回からのご請求が停止となり、サービスも停止します。
- アドオンはNCEより、単独で購入が可能になります。（該当のテナントにメインプランがあることが前提）サブスクリプションがメインとは別に管理されますため、期間も単独で管理されます。請求は新規購入と同じ形で請求します。

# 月契約・月払い 新規①基本

- 毎月契約し毎月支払う課金体系になります、更新停止しない限りは自動請求となります。
- プロビジョニングされた日がサブスクリプションの開始日となり、即時計上と当月請求します。
- PV当日に限り、21時までキャンセルが可能です。
- ユーザー追加の際は、追加した月は、追加のプロビジョニングした日～次の契約満了日までの日割請求  
【日割請求: (月額単価×12÷365) ×日数 = 請求額】当月請求となります。

## ライセンス新規契約・追加の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、4月に追加があった場合



### 請求内容

- 初月利用分：10ライセンスを1/15～2/14までの月額フル金額を即時発行
- 2か月目利用分：10ライセンスの2/15～3/14までの月額フル金額を2/15に発行
- 3か月目利用分：10ライセンスの3/15～4/14までの月額フル金額を3/15に発行
- 3月追加分：5ライセンスの3/20～4/14までの日割り金額を即時発行...

# 月契約・月払い フルアップグレード

- アップグレードはアップグレード元のサブスクリプション期間に紐づきますが、単価はアップグレード時点の単価が適用されます。
- アップグレードされた時点で、その当月の請求サイクルの満了日まで日割請求、即日計上します。**アップグレード元の返金はいりません。**
- **請求サイクル期間の満了日～2日前の3日間にアップグレードいただいた場合は、その月のアップグレードいただいたプランの請求は行いませんので、請求サイクル期間の満了日～2日前の3日間にアップグレードを行っていただくことをお奨めします。**
  - 例) 1/15にPVを行った場合、毎月15日が更新日となるので、12～14日がアップグレード無償範囲

## アップグレードの請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard (BS) 10ライセンス 新規プロビジョニング  
3月10日に保有のBS全数をMicrosoft 365 Business Premium (BP) 10ライセンスにフルアップグレード



更新停止がない限り、毎月当月請求・自動請求。価格変動があった際は、Microsoftのアナウンスメント、ルールに準じます。

# 月契約・月払い 減数

- 契約途中でライセンス数の減数はできません。
- 次月の請求から減数されたライセンス数に基づき請求します。減数の際は、「更新時の各種変更」から減数予約いただくと、次回更新日より減数した数量で更新・請求されます。

## ライセンス減数の請求

例：1月10日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、3月10日に5ライセンス減数予約



更新停止がない限り、毎月当月請求・自動請求。価格変動があった際は、Microsoftのアナウンスメント、ルールに準じます。

### 請求内容

- 初月利用分：10ライセンスを1/10～2/9までの月額フル金額を即時発行
- 2か月目利用分：10ライセンスの2/10～3/9までの月額フル金額を2/10に発行
- 3か月目利用分：5ライセンスの3/10～4/9までの月額フル金額を3/10に発行...

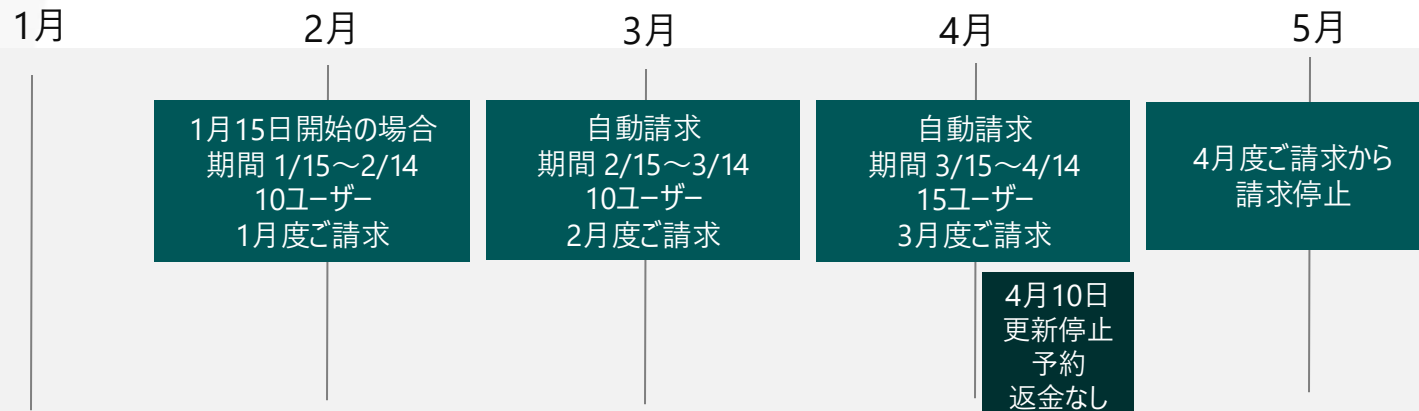
# 月契約・月払い 解約・更新停止（Disable Renew）



- 更新停止（Disable Renew）の処理が更新日10日前から可能です。その処理を行った契約については、次回更新日からサービスと請求を停止します。
- 契約期間途中の更新停止予約処理における当期間中の返金はありません。
- 解約処理は基本想定されておりません。

## ライセンスの更新停止の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、4月10日に更新停止予約処理



解約がない限り、毎月当月請求・自動請求。価格変動があった際は、Microsoftのアナウンスメント、ルールに準じます。

### 請求内容

- 初月利用分：10ライセンスを1/15～2/14までの月額フル金額を即時発行
- 2か月目利用分：10ライセンスの2/15～3/14までの月額フル金額を2/15に発行
- 3か月目利用分：10ライセンスの2/15～3/14までの月額フル金額を3/15に発行
- 4か月目利用分から請求停止

# 月契約・期間の考え方



- 基本的に、プロビジョニングした日＝毎月の更新日となります  
例) 9月10日プロビジョニング>>次回更新日：10月10日（満了日：10月9日）、11月10日、12月10日、、と続きます
- 以下の例外が存在しておりますので、月末のプロビジョニングはお勧めしません
- 2つの例外
  - 31日にプロビジョニングした場合  
翌月の日数が30日の場合は、次回更新日は30日になります  
例) 8月31日プロビジョニング>>次回更新日：9月30日（満了日：29日）  
当月の日数が31日、かつ翌月の日数が30日である場合に、当月最終日に1か月のサブスクリプションが購入されるとそのサブスクリプションはその月の30日ではなく29日に終了します
  - うるう年の2月  
1月の29、30、31日にプロビジョニングした場合も期間が短くなります  
これらのケースのすべてにおいて、サブスクリプションの有効期限は2月27日  
ただしうるう年の場合は2月28日になります

Start date	End date
29-Oct-2022	28-Nov-2022
29-Nov-2022	28-Dec-2022
29-Dec-2022	28-Jan-2023
29-Jan-2023	27-Feb-2023
28-Feb-2023	27-Mar-2023
28-Mar-2023	27-Apr-2023

Start date	End date
30-Oct-2022	29-Nov-2022
30-Nov-2022	29-Dec-2022
30-Dec-2022	29-Jan-2023
30-Jan-2023	27-Feb-2023
28-Feb-2023	27-Mar-2023
28-Mar-2023	27-Apr-2023

Start date	End date
31-Oct-2022	29-Nov-2022
30-Nov-2022	29-Dec-2022
30-Dec-2022	29-Jan-2023
30-Jan-2023	27-Feb-2023
28-Feb-2023	27-Mar-2023
28-Mar-2023	27-Apr-2023

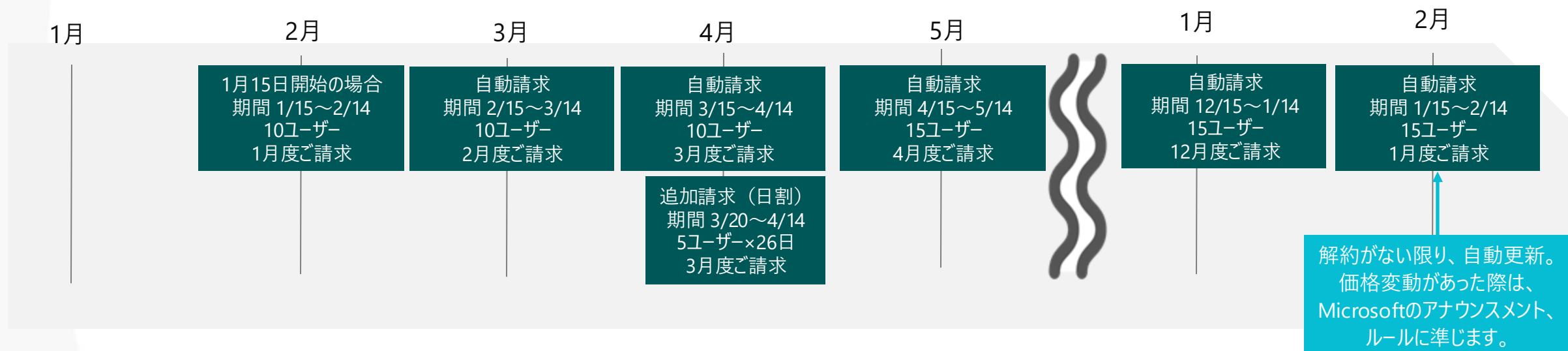
# 年契約・月払い

# 年契約・月払い 基本ルール

- プロビジョニング日から1か月単位で、毎月ご請求させていただきます。即日計上と当月請求します。
- ユーザー追加の際は、追加した月は、追加のプロビジョニングした日～次の契約応当日前日までの日割請求  
【日割請求: (月額単価×12÷365) ×日数 = 請求額】当月請求となります。更新のタイミングで追加される場合は、「更新時の各種変更」から変更予約いただき、次回更新日より追加した数量で更新・請求されます。
- 1年間は価格固定です。
- 契約途中の減数、解約はできませんが、PV当日に限り、21時までキャンセルが可能です。減数は、「更新時の各種変更」から変更予約いただき、次回更新日より減数した数量で更新・請求されます。
- 解約されなければ、同じ課金体系で自動更新となります。
- アドオンはNCEより、単独で購入が可能になります。（該当のテナントにメインプランがあることが前提です）サブスクリプションがメインとは別に管理されますため、期間も単独で管理されます。請求は新規購入と同じ形で請求します。

## ライセンス新規契約・追加の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、3月20日同プラン5ユーザー追加



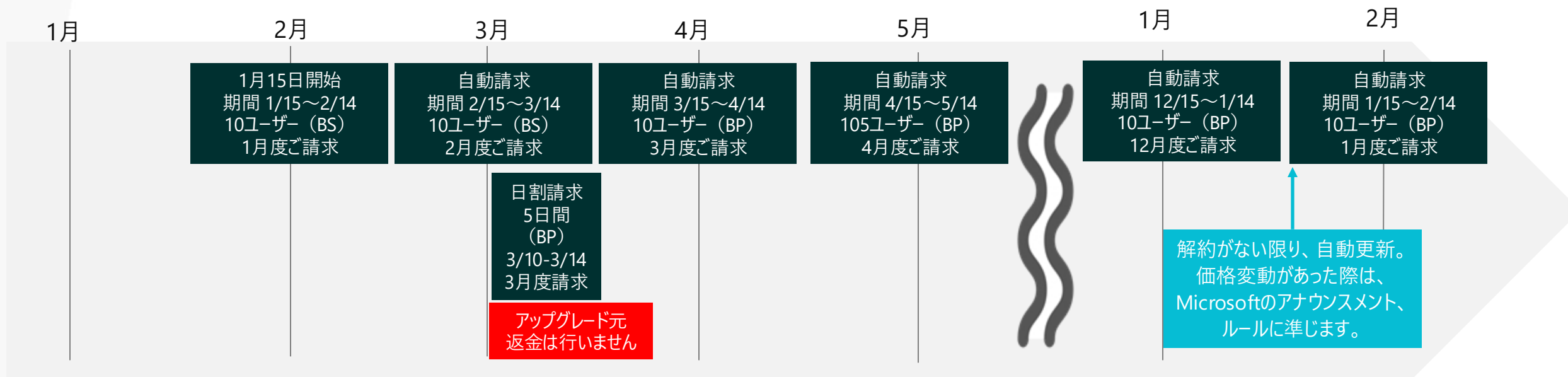


# 年契約・月払い フルアップグレード

- アップグレードはアップグレード元のサブスクリプション期間に紐づきますが、単価はアップグレード時点の単価が適用されます。
- アップグレードされた時点で、その当月の請求サイクルの期日まで日割請求、即日計上します。**アップグレード元の返金はいりません。**
- 請求サイクル期間の満了日～2日前の3日間にアップグレードいただいた場合は、その月のアップグレードいただいたプランの請求は行いませんので、請求サイクル期間の満了日～2日前の3日間にアップグレードを行っていただくことをお奨めします。
  - 例) 1/15にPVを行った場合、毎月15日が更新日となるので、12～14日がアップグレード無償範囲

## ライセンスフルアップグレードの請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard (BS) 10ライセンス 新規プロビジョニング  
3月10日に保有のBS全数をMicrosoft 365 Business Premium (BP) 10ライセンスにフルアップグレード

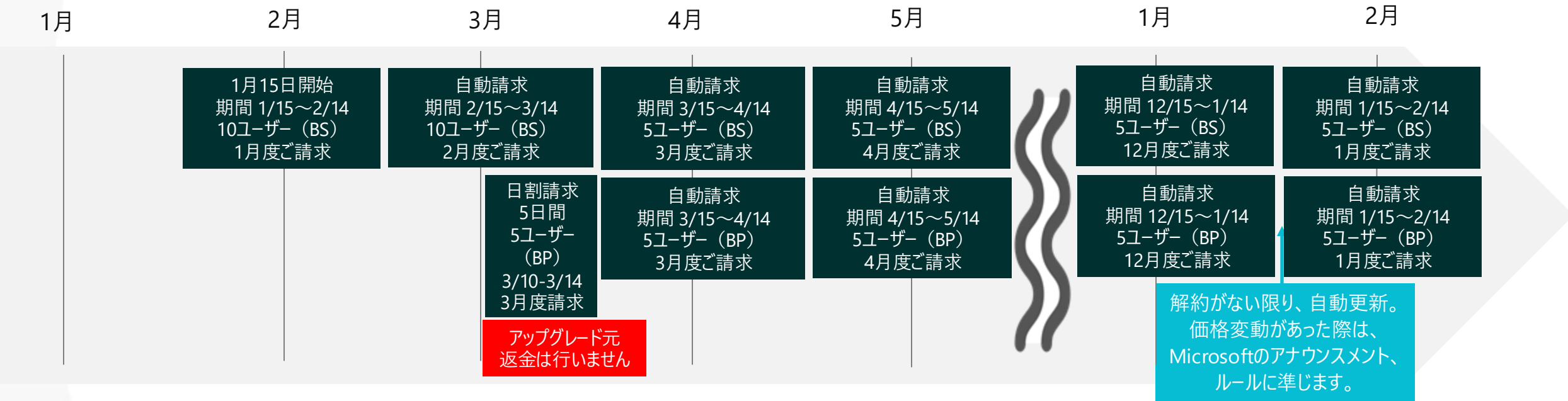


# 年契約・月払い パーシャル（一部）アップグレード

- アップグレードはアップグレード元のサブスクリプション期間に紐づきますが、単価はアップグレード時点の単価が適用されます。
- アップグレードされた時点で、その当月の請求サイクルの期日まで日割請求、即日計上します。**アップグレード元の返金はいりません。**
- アップグレード元のサブスクリプションは次月請求から、残りのシート数で請求します。
- 請求サイクル期間の満了日～2日前の3日間にアップグレードいただいた場合は、その月のアップグレードいただいたプランの請求は行いませんので、請求サイクル期間の満了日～2日前の3日間にアップグレードを行っていただくことをお奨めします。
  - 例）1/15にPVを行った場合、毎月15日が更新日となるので、12～14日がアップグレード無償範囲

## ライセンスパーシャルアップグレードの請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard（BS） 10ライセンス 新規プロビジョニング  
3月10日に保有のBSのうち 5 ライセンスをMicrosoft 365 Business Premium（BP） にパーシャルアップグレード

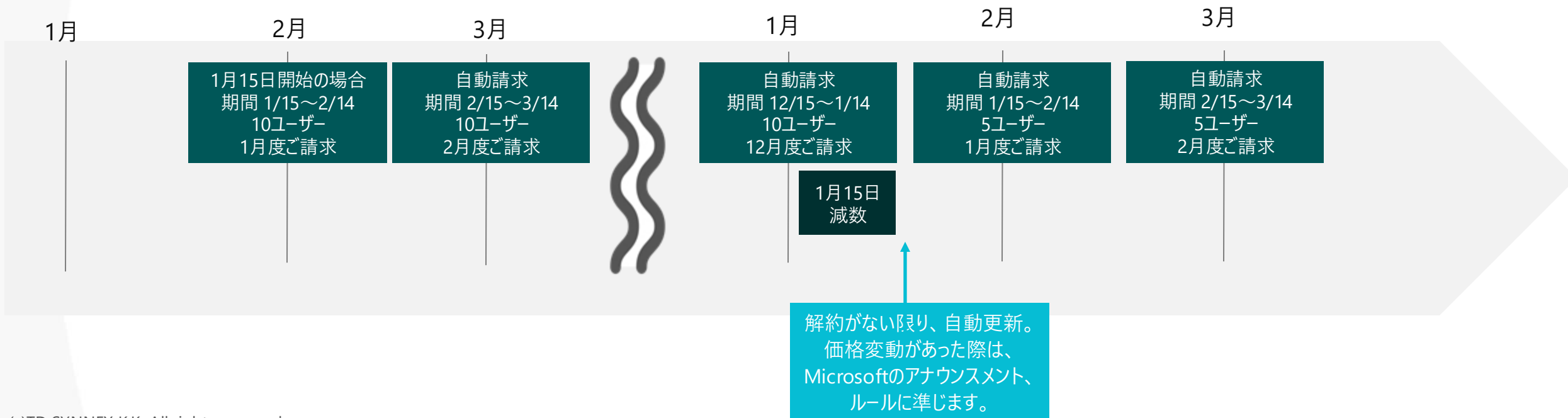


# 年契約・月払い 減数

- 契約途中の解約・減数はできません。更新のタイミングで解約・減数を行うことが可能です。
- 減数は、「更新時の各種変更」から変更予約いただき、次回更新日より減数した数量で更新・請求されます。（予約はいつでも可能）
- 減数を行う場合は、事前にエンドユーザー様にて、365管理ポータル上で減数分のユーザーアカウントを削除ないしはライセンスの割り当てを外す必要があります。（先に減数処理してしまうとランダムにライセンスがはく奪されます。）
- エンドユーザー様にて、管理ポータル上でアカウント削除後、StreamOne Stellrから減数処理を行っていただくことをお勧めします。

## ライセンス減数の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、1年後の1月15日に5ユーザーに減数



# 年契約・月払い 解約・更新停止（Disable Renew）

- 契約途中の解約・減数はできません。更新のタイミングで行っていただきます。
- 解約処理は想定されておらず、更新停止（Disable Renew）の処理が更新日2か月前から可能です。その処理を行った契約については、次回更新日からサービスと請求を停止します。
- 契約期間途中の更新停止予約処理における当期間中の返金はありません。

## ライセンス解約・更新停止の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、1年後の1月15日に解約



# 年契約・年払い

# 年契約・年払い 基本ルール

- プロビジョニング日がライセンス開始日となり、自動更新日はその12か月後の日付が設定されます。
- 年額一括の請求となります。
- 契約途中のライセンス数の追加は、満了日までの日割請求【単価比率（日数÷365）×単価＝請求額】で一括請求します。
- 年額請求はプロビジョニング日の即日計上となります。
- 契約途中の解約・減数はできませんが、PV当日に限り、21時までキャンセルが可能です。更新のタイミングでのみ解約・減数を行うことが可能です。
- アドオンはNCEより、単独で購入が可能になります。（該当のテナントにメインプランがあることが前提です。）サブスクリプションがメインとは別に管理されますため、期間も単独で管理されます。請求は新規購入と同じ形で請求します。

## ライセンス新規契約・追加の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、3月15日に5ライセンス追加



### 請求内容

- 1月利用開始：10ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、1月度の請求書
- 3月追加分：5ライセンス×【単価比率（306日（3/15～来年1/14）÷365）×単価】、3月度の請求書

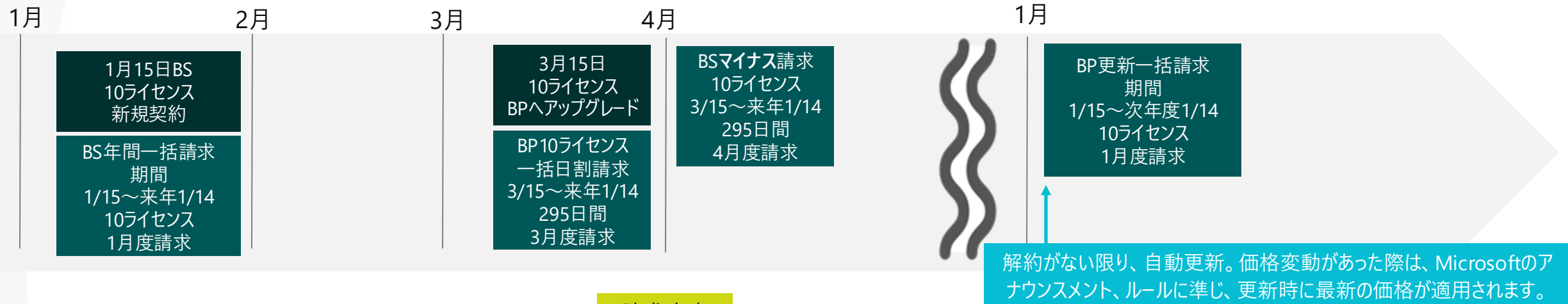
# 年契約・年払い フルアップグレード

- アップグレードはアップグレード元のサブスクリプション期間に紐づきますが、単価はアップグレード時点の単価が適用されます。
- アップグレードされたプランは、そのシート数分をアップグレードされた日～満了日までの日割請求を行います。
- アップグレード元はアップグレードされた日～契約満了日の期間でマイナス処理します。

## アップグレードの請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard（BS） 10ライセンス 新規プロビジョニング

3月15日に保有のBS全数をMicrosoft 365 Business Premium（BP） 10ライセンスにフルアップグレード



### 請求内容

- 1月BS利用開始：10ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、1月度の請求書
- 3月BPアップグレード：10ライセンスを3/15～来年1/14（295日分）までの日割請求一括、3月度の請求書
- 3月BS返金（マイナス）：10ライセンスを3/15～来年1/14（295日分）のマイナス請求書、3月or4月の請求書
- 1月BP更新：BP 10ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、1月度の請求書



# 年契約・年払い パーシャル（一部）アップグレード

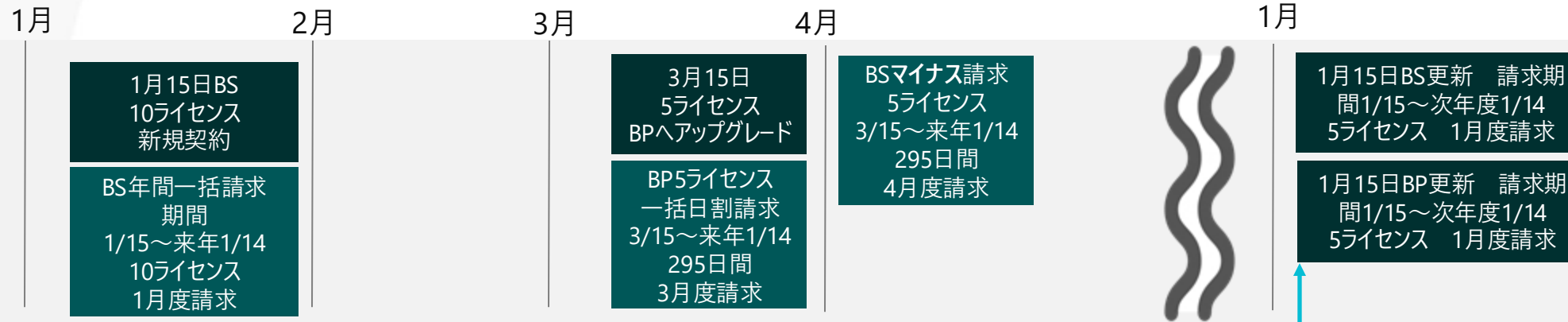


- アップグレードはアップグレード元のサブスクリプション期間に紐づきますが、単価はアップグレード時点の単価が適用されます。
- アップグレードされたプランは、そのシート数分をアップグレードされた日～契約満了日までの日割請求を行います。
- アップグレード元はアップグレードされた日～契約満了日の期間でマイナス処理します。

## アップグレードの請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard（BS） 10ライセンス 新規プロビジョニング

3月15日に保有のBSのうち5ライセンスをMicrosoft 365 Business Premium（BP） にパーシャルアップグレード



解約がない限り、自動更新。価格変動があった際は、Microsoftのアナウンスメント、ルールに準じ、更新時に最新の価格が適用されます。

### 請求内容

- 1月BS利用開始：10ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、1月度の請求書
- 3月5ライセンスをBPにアップグレード：BP 5ライセンスを3/15～来年1/14（295日分）までの日割請求一括、3月度の請求書
- 3月BS返金（マイナス）：5ライセンスを3/15～来年1/14（295日分）のマイナス請求、3月or4月の請求書
- 1月BS更新・BP更新：BS 5ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、BP 5ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、1月度の請求書



# 年契約・年払い 減数



- 契約途中の解約・減数はできません。更新のタイミングで解約・減数を行うことが可能です。
- 減数は、「更新時の各種変更」から変更予約いただき、次回更新日より減数した数量で更新・請求されます。（予約はいつでも可能）
- 減数を行う場合は、事前にエンドユーザー様にて、365管理ポータル上で減数分のユーザーアカウントを削除ないしはライセンスの割り当てを外す必要があります。（先に減数処理してしまうとランダムにライセンスがはく奪されます。）
- エンドユーザー様にて、管理ポータル上でアカウント削除後、StreamOne Stellrから減数処理を行っていただくことをお勧めします。

## ライセンス減数の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 15ライセンス 新規プロビジョニング、1年後の1月15日に5ライセンス減数



### 請求内容

- 1月利用開始：15ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、1月度の請求書
- 1年後の1月：10ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、1月度の請求書

# 年契約・年払い解約・更新停止（Disable Renew）



- 契約途中の解約・減数はできません。更新のタイミングで行っていただきます。
- 解約処理は想定されておらず、更新停止（Disable Renew）の処理が更新日2か月前から可能です。その処理を行った契約については、次回更新日からサービスと請求を停止します。
- 契約期間途中の更新停止予約処理における当期間中の返金はありません。

## ライセンスの解約の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 15ライセンス 新規プロビジョニング、1年後の1月15日に解約



### 請求内容

- 1月利用開始：15ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、1月度の請求書
- 1年後の1月：請求停止

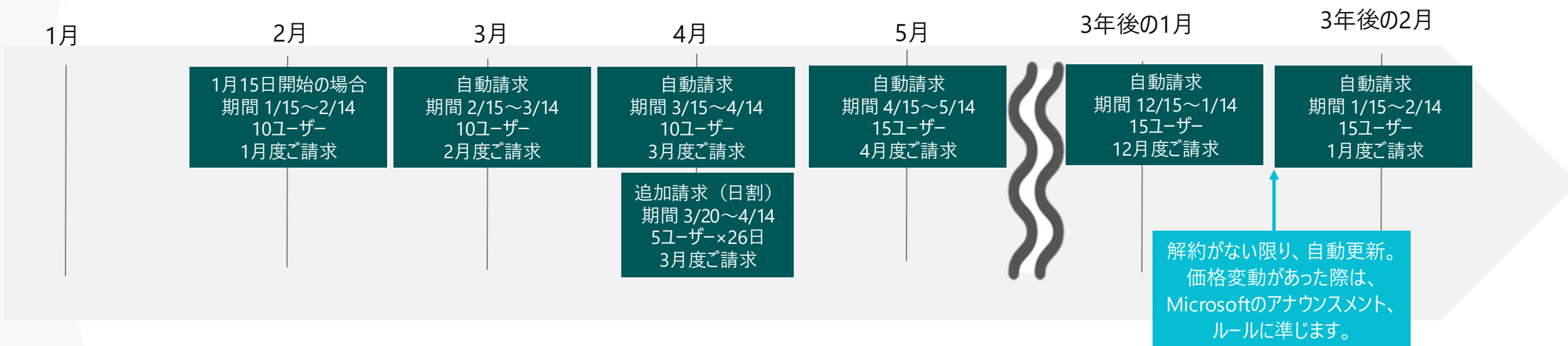
# 3年契約・月払い

# 3年契約・月払い基本ルール

- 契約期間が3年（価格が固定される期間3年）である以外の**基本的なルールは、年契約月払いの請求ルール**と同様です。
- プロビジョニング日から1か月単位で、毎月ご請求させていただきます。即日計上と当月請求します。
- ユーザー追加の際は、追加した月は、追加のプロビジョニングした日～次の契約応当日前日までの日割請求  
【日割請求：（月額単価×12÷365）×日数＝請求額】当月請求となります。
- 契約途中の解約・減数はできませんが、PV当日に限り、21時までキャンセル可能です。更新のタイミングでのみ解約・減数を行うことが可能です。
- 解約されなければ、同じ課金体系で自動更新となります。
- アドオンはNCEより、単独で購入が可能になります。サブスクリプションがメインとは別に管理されますため、期間も単独で管理されます。請求は新規購入と同じ形で請求します。

## ライセンス新規契約・追加の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、3月20日同プラン5ユーザー追加

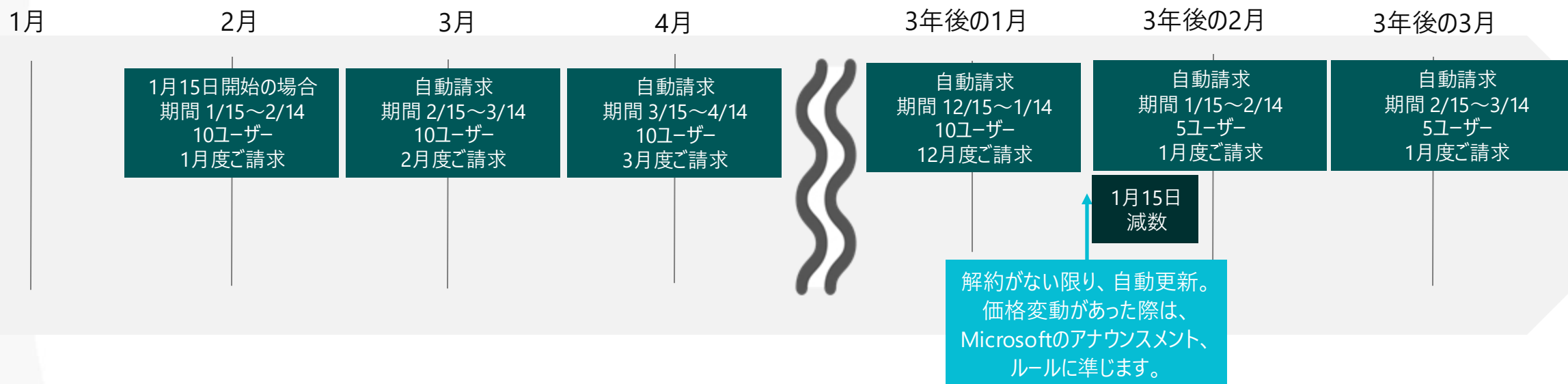


# 3年契約・月払い 減数（自動更新日のみ）

- 契約途中の解約・減数はできません。自動更新日でのみ解約・減数を行うことが可能です。
- 減数は、「更新時の各種変更」から変更予約いただき、次回更新日より減数した数量で更新・請求されます。（予約はいつでも可能）
- 減数を行う場合は、事前にエンドユーザー様にて、365管理ポータル上で減数分のユーザーアカウントを削除ないしはライセンスの割り当てを外す必要があります。（先に減数処理してしまうとランダムにライセンスがはく奪されます。）
- エンドユーザー様にて、管理ポータル上でアカウント削除後、StreamOne Stellrから減数処理を行っていただくことをお勧めします。

## ライセンス減数

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、3年後の1月15日に5ユーザーに減数



# 3年契約・月払い 解約・更新停止（Disable Renew）

- 契約途中の解約・減数はできません。更新のタイミングで行っていただきます。
- 解約処理は想定されておらず、更新停止（Disable Renew）の処理が更新日2か月前から可能です。その処理を行った契約については、次回更新日からサービスと請求を停止します。
- 契約期間途中の更新停止予約処理における当期間中の返金はありません。

## ライセンス解約

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、3年後の1月15日に解約



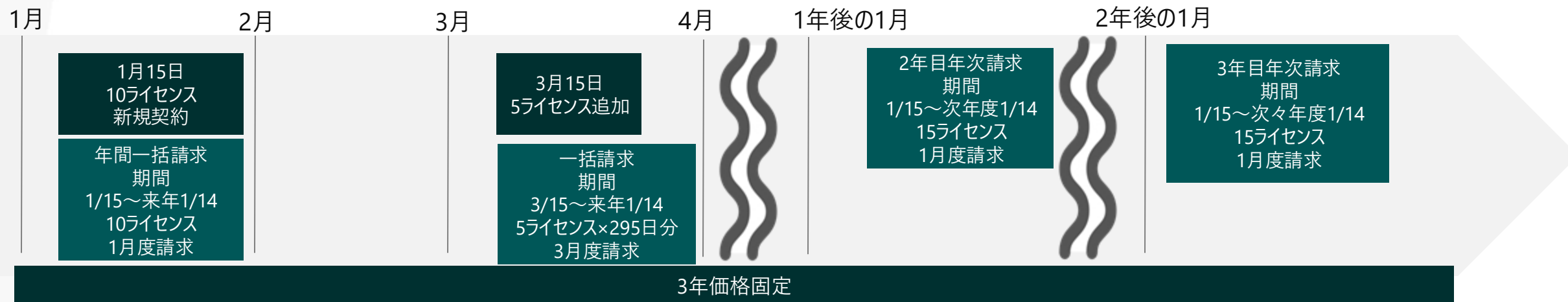
# 3年契約・年払い

# 3年契約・年払い 基本ルール

- 3年間契約を年払いする課金体系になります。
- プロビジョニング日がライセンス開始日となり、自動更新日はその36か月後の日付が設定されます。
- 契約途中のライセンス数の追加は、年次の更新日前日までの日割【単価比率（日数÷365）×単価＝請求額】を一括請求します。
- 3年間契約を年払いは即日計上となります。
- 3年の契約途中の解約・減数はできませんが、PV当日に限り、21時までキャンセル可能です。自動更新日でのみ解約・減数を行うことが可能です。
- 解約がなければ、同じ請求形態での自動更新・自動請求です。

## ライセンス新規契約・追加の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、3月15日に5ライセンス追加



### 請求内容

- 1月年次請求：10ライセンスを1/15～来年1/14までの年次請求一括、1月度の請求書
- 3月追加分：5ライセンス×日割単価【月額単価×12÷365】×295日（3/15～来年1/14）3月度の請求書
- 2年目年次請求：15ライセンスを1/15～次年度1/14までの年次請求一括、2年目の1月度の請求書
- 3年目年次請求：15ライセンスを1/15～次年度1/14までの年次請求一括、3年目の1月度の請求書



# 3年契約・年払い 減数（自動更新日のみ）

- 3年の契約途中の解約・減数はできません。自動更新日でのみ解約・減数を行うことが可能です。
- 減数は、「更新時の各種変更」から変更予約いただき、次回更新日より減数した数量で更新・請求されます。（予約はいつでも可能）
- 減数を行う場合は、事前にエンドユーザー様にて、365管理ポータル上で減数分のユーザーアカウントを削除ないしはライセンスの割り当てを外す必要があります。（先に減数処理してしまうとランダムにライセンスがはく奪されます。）
- エンドユーザー様にて、管理ポータル上でアカウント削除後、StreamOne Stellarから減数処理を行っていただくことをお勧めします。

## ライセンス減数の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 15ライセンス 新規プロビジョニング、3年後の更新日に5ライセンス減数



### 請求内容

- 1年目年次請求：15ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、1月度の請求書
- 2年目年次請求：15ライセンスを次年度1/15～1/14までの年間請求一括、1月度の請求書
- 3年目年次請求：15ライセンス次々年度1/15～1/14までの年間請求一括、1月度の請求書
- 3年後1/15 5ライセンス減数
- 更新年次請求：10ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、1月度の請求書

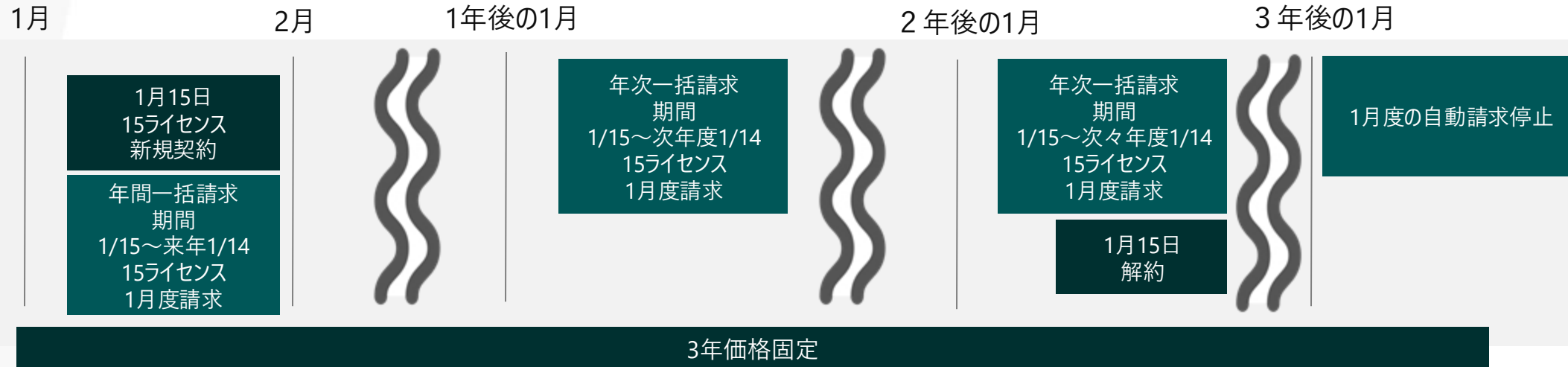
# 3年契約・年払い 解約・更新停止（Disable Renew）



- 契約途中の解約・減数はできません。更新のタイミングで行っていただきます。
- 解約処理は想定されておらず、更新停止（Disable Renew）の処理が更新日2か月前から可能です。その処理を行った契約については、次回更新日からサービスと請求を停止します。
- 契約期間途中の更新停止予約処理における当期間中の返金はありません。

## ライセンスの解約

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 15ライセンス 新規プロビジョニング、3年後の1月15日に解約処理が可能



### 請求内容

- 1年目年次請求：15ライセンスを1/15～来年1/14までの年間請求一括、1月度の請求書
- 2年目年次請求：15ライセンスを次々年度1/15～1/14までの年間請求一括、1月度の請求書
- 3年目年次請求：15ライセンス次々年度1/15～1/14までの年間請求一括、1月度の請求書

# 3年契約・3年一括払い

# 3年契約・3年一括払い 基本ルール

- 3年間契約を3年一括払いする課金体系になります。
- プロビジョニング日がライセンス開始日となり、自動更新日はその36か月後の日付が設定されます。
- 契約途中のライセンス数の追加は、契約更新日前日までの日割【単価比率（日数÷総日数）×単価＝請求額】を一括請求します。
- 3年間契約を3年一括払いは即日計上となります。
- 3年の契約途中の解約・減数はできませんが、PV当日に限り、21時までキャンセル可能です。自動更新日でのみ解約・減数を行うことが可能です。
- 解約がなければ、同じ請求形態での自動更新・自動請求です。

## ライセンス新規契約・追加の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 10ライセンス 新規プロビジョニング、3月15日に5ライセンス追加



### 請求内容

- 3年一括請求：10ライセンスを1/15～3年後1/14までの3年一括請求、1月度の請求書
- 3月追加分：5ライセンス×単価比率（1036日（3/15～3年後1/14）÷1095日）×単価、3月度の請求書
- 更新一括請求：15ライセンスを1/15～更新3年後の1/14までの年間請求一括、1月度の請求書

# 3年契約・一括払い 減数（自動更新日のみ）

- 3年の契約途中の解約・減数はできません。自動更新日でのみで解約・減数を行うことが可能です。
- 減数は、「更新時の各種変更」から変更予約いただき、次回更新日より減数した数量で更新・請求されます。（予約はいつでも可能）
- 減数を行う場合は、事前にエンドユーザー様にて、365管理ポータル上で減数分のユーザーアカウントを削除ないしはライセンスの割り当てを外す必要があります。（先に減数処理してしまうとランダムにライセンスがはく奪されます。）
- エンドユーザー様にて、管理ポータル上でアカウント削除後、StreamOne Stellrから減数処理を行っていただくことをお勧めします。

## ライセンス減数の請求

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 15ライセンス 新規プロビジョニング、3年後の更新日に5ライセンス減数



3年価格固定

解約がない限り、自動更新。価格変動があった際は、Microsoftのアナウンスメント、ルールに準じ、更新時に最新の価格が適用されます。

### 請求内容

- 3年一括請求：15ライセンスを1/15～3年後の1/14までの一括請求、1月度の請求書
- 更新一括請求：10ライセンスを1/15～更新3年後の1/14までの年間請求一括、1月度の請求書

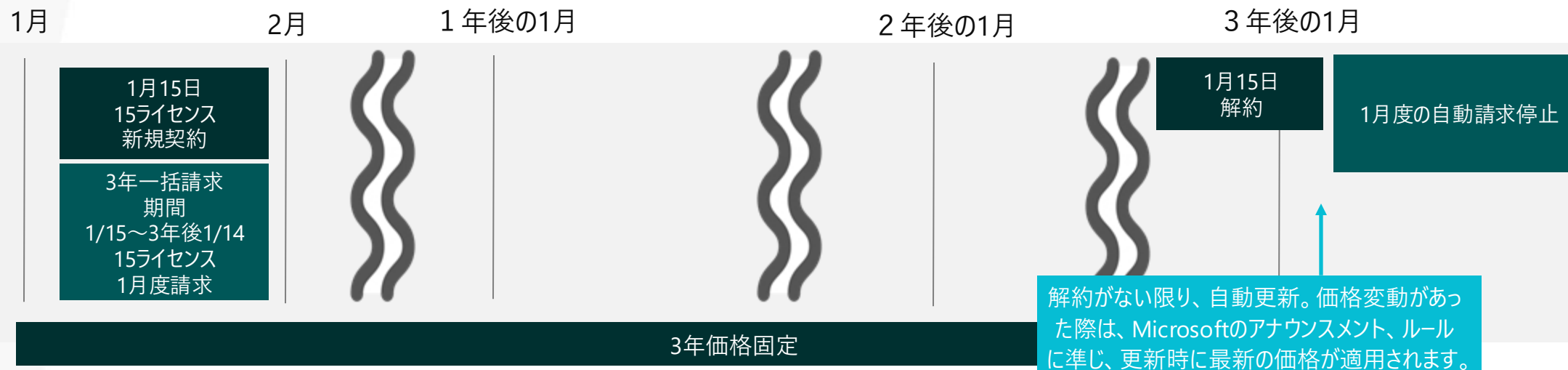
# 3年契約・一括払い 解約・更新停止（Disable Renew）



- 契約途中の解約・減数はできません。更新のタイミングで行っていただきます。
- 解約処理は想定されておらず、更新停止（Disable Renew）の処理が更新日2か月前から可能です。その処理を行った契約については、次回更新日からサービスと請求を停止します。
- 契約期間途中の更新停止予約処理における当期間中の返金はありません。

## ライセンスの解約

例：1月15日にMicrosoft 365 Business Standard 15ライセンス 新規プロビジョニング、3年後の1月15日に解約処理が可能



### 請求内容

- 3年一括請求：15ライセンスを1/15～3年後の1/14までの一括請求、1月度の請求書

# Azure Plan 従量課金ルール

- 消費ベースのクラウドサービス（代表例：Microsoft CSPで提供されるAzure従量課金サービス）のご請求は、実際にご利用された分（メーカーからの従量課金分）をベースに請求します。エンドユーザー様向け参考価格(Microsoftダイレクト価格)の約93%での請求となります。
- Microsoftからの請求金額が翌月7営業日前後に確定し、その後8営業日を目途に次月付けでご請求いたします。  
例：9月利用分のAzure従量課金サービスのご請求は、10月付のご請求書での請求。
- Azure各サービスの価格は毎月為替の影響を受けることにより、変動の可能性があります。
- 消費ベースのクラウドサービス、Azureは12か月のサービス単価における固定の考え方は適用されません。  
サービス単価の変動があった場合は、その時々々のサービス金額が適用されます。
- Azureポータル内で購入されたMarketplaceの製品については、Azureの請求と同じ時期に請求します。



# Azure Reserved Instance 課金ルール

# Azure Reserved Instance 課金

- Reserved VM Instances を購入すると、1 年分または 3 年分の全期間の予約に対する請求金額を一括前払いで請求します。
- Azure各サービスの価格は毎月為替の影響を受けることにより、変動の可能性がございます。
- 分割のお支払いは現時点では提供していません。
- 契約途中のキャンセルは可能です。残存価格の払い戻しとなりますが、キャンセル手数料15%がかかりますが、2024/9現在は手数料がかかりません。（手数料は変更となる可能性もあります）。またキャンセルによる払い戻しには 1 年間 (1 月 ~ 12 月) で 50,000 米ドルまでの上限があります。
- 一度ご契約をいただいたRI は別の RI (インスタンス、データセンター、期間) に交換可能です。元のRIの残りの期間は金額に換算され、新規 RI の購入に充当することが可能です。交換には手数料はかかりませんが、新規 RI の購入金額は、残高と同額以上である必要がありますので、ご注意ください。
- ご請求はすべて日本円です。

1 年の D3 v2 VM (米国東部 2) = \$1,337

8 か月目最終日に交換  
残金 (4か月分)  
 $\$1298 / 12\text{か月} \times 4\text{か月} = \$446$

\$446

1 年の L8 VM (西ヨーロッパ) = \$5,924

残存する分の 446 米ドルは新しい L8 の購入に充当され、請求額は 5,478 米ドルとなります

# ソフトウェアサブスクリプション 課金ルール

# ソフトウェアサブスクリプション 課金

- Software Subscriptionを購入すると、1年あるいは3年分請求金額が一括払いでのご請求書で請求します。
- 分割のお支払いはできません。
- プロビジョニングした当日に限り、キャンセルが可能です。ただし、キャンセルはその当日の21時までとさせていただきます。(StreamOne Stellrから解約処理いただきます) それ以降はキャンセルできません。
- 2021年10月13日以前のオーダーは自動更新されません。2021年10月14日以降のオーダーは解約がない限りは自動更新となります。

1月                      2月                      3月                      4月                      5月                      6月                      7月

1月15日開始の1年のSoftware Subscriptionの場合  
期間 1/15～1/14  
一括ご請求

# 永続ライセンス 課金ルール

# 永続ライセンス 課金

- Perpetual License(Software in CSP)を購入すると、請求金額が一括払いでのご請求書で請求します。
- 購入すると、一括ご請求いたします。分割のお支払いはできません。
- プロビジョニングした当日に限り、キャンセルが可能です。ただし、キャンセルはその当日の21時までとさせていただきます。(StreamOne Stellrから解約処理いただきます) それ以降はキャンセルできません。

1月                      2月                      3月                      4月                      5月                      6月                      7月

買い切り  
一括ご請求

# Azure有償サポート 請求ルール

# Azure有償サポート課金

- Azure有償サポートは最小3か月～のご契約が必要です。
- サポート開始日から1か月単位で、毎月ご請求させていただきます。即日計上と当月請求となります。
- 解約の申し出がない限りは自動請求となります。
- 更新日の前日までにStreamOne Stellarからサポートの解約をいただきましたら、次月分より請求停止致します。

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

1月15日開始の場合  
期間 1/15～2/14  
1月度ご請求

自動更新  
期間 2/15～3/14  
2月度ご請求

自動更新  
期間 3/15～4/14  
3月度ご請求

4/14までに解約した場合、  
4/15～の期間の請求より停止。  
\* 期間途中で解約処理いただいても  
返金対応はありません

再度任意のタイミングでサポートの申込は可能です。その場合も最小3か月の契約をお願いします。



# Azure Managed Service 請求ルール

# Azure Managed Service

- 最小3か月～のご契約が必要です。
- サポート開始日（Runbookが確定し、運用監視がスタートした時点から課金開始）から1か月単位で、毎月ご請求させていただきます。
- 1か月単位で、毎月ご請求させていただきます。即日計上と当月請求となります。
- 解約の申し出がない限りは自動請求となります。
- 60 日前に解約の申し出が必要となり、解約が受諾されない限り、毎月請求します。



# FAQ

月契約・月払い

年契約・月払い/年払い

3年契約・月払い/年払い/3年一括払い

Q1. 同一テナント内で同一プラン（エディション）で異なる請求形態を混在させることは可能ですか？

A1. 可能です。

月契約・月払い

年契約・月払い/年払い

3年契約・月払い/年払い/3年一括払い

Q2. サブスクリプションベースはテナント単位で製品グループ2,400シート以上から仕切りがなくなるということですが、それはどのように請求されますか？

A2. 2,400シート以上の仕切りがなくなる点については、2022年8月時点では、2022年12月まで適用はされない予定となっています。マイクロソフトの適用が確認できた時点で、後日追って差分をご請求させていただく予定です。

月契約・月払い

年契約・月払い/年払い

3年契約・月払い/年払い/3年一括払い

**Q3. 請求書はどのように発行されますか？**

A3. 基本はStreamOne Stellrの契約単位（EU単位）で請求書は発行されます。（他ベンダーのソリューションは別です。）

月契約・月払い

年契約・月払い/年払い

3年契約・月払い/年払い/3年一括払い

**Q4. 一部のアップグレードはできますか？**

A4. 年契約では可能です。月契約の場合は一部アップグレードはサポートされませんので、既存契約の減数ならびに新規契約を行うことにより、元プラン・アップグレード後のプランで2つの契約を作成ください。

# トライアルオフアー

# トライアルオファー

- トライアルは通常25ユーザー、30日間で提供されます
- 製品により25ユーザーでない場合があります。
- 自動で有償版には切り替わりません
- 提供される製品は都度StreamOne Stellrでご確認ください

---

Microsoft Teams Room Pro  
Microsoft Teams Phone with Calling Plan  
Microsoft Teams Audio Conferencing select dial-out  
Microsoft Teams Essentials (AAD Identity)  
Microsoft Viva Goals  
Microsoft Teams Calling Plan pay-as-you-go  
Visio Plan 2  
Visio Plan 1  
Project Plan 3  
Project Plan 1  
Dynamics 365 Remote Assist  
Enterprise Mobility + Security E5  
Microsoft 365 Business Premium  
Microsoft 365 Business Standard  
Office 365 E3  
Office 365 E5  
Windows 10/11 Enterprise E3  
Dynamics 365 Guides  
Dynamics 365 Remote Assist Attach  
Dynamics 365 Business Central Premium  
Dynamics 365 Customer Engagement Applications  
Microsoft 365 F1

---

※2022/8時点のオファー